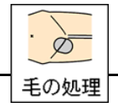
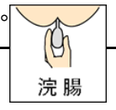
腹腔鏡で胃全摘術を受けられる患者様へ

・入院期間は変更があることもあります。

・詳細につきましては、入院された後、看護師より説明させて頂きます。

経過	1日目	2日目	3日目		4日目	5～6日目	7～9日目	9～15日目
日時	入院日 手術前々日（　/　）	手術前日（　/　）	手術当日（　/　）手術前	手術当日（　/　）手術後	手術翌日（　/　）	術後２～３日目	術後４～６日目	術後７～12日目退院
目標	心身ともに安定した状態で手術にのぞめる			疼痛がコントロールされる　出血を起こさない		痛みのコントロールができる　異常なく飲水が開始できる	スムーズに経口摂取が出来る　ダンピング症状による苦痛がない	創部の感染兆候がない　食事後の通過障害がない　退院後の生活の注意点が理解できる
検査	採血 場合によって胃カメラを行うことがあります		手術室入室予定時間 （　　：　　）	体温、脈拍、血圧を定期的に測定します。	採血　レントゲン	透視造影検査		
治療			 □９時からの手術です。点滴せずに手術室へ行きます。 □９時以降の手術です。10時過ぎから点滴をします。	 朝・夕に抗生物質を点滴します。 点滴を続けます。 酸素吸入を行います。→	酸素吸入を終了します。		食事摂取できていれば点滴の針を抜きます。 食事摂取の状況により、点滴の必要性を考慮します。	退院 病理検査の結果が出れば医師よりご説明いたします。病理結果が退院時点で出ていないときは、外来でご説明させていただく場合があります。
説明・観察	看護師が、これまでにかかった病気、飲んでいる薬などについて伺います。**現在内服中のお薬は、お薬の説明書と共に忘れずにご持参下さい。手術に備え、和式の寝巻き1枚、腹帯1～２枚、T字帯１枚、バスタオル1枚をご用意下さい。**氏名確認のためのリストバンドをつけていただきます。 	主治医より（　/　）（　　）時頃に手術の説明があります。ご家族の方と一緒に聞いていただき手術説明書・同意書をお渡しします。必要事項記入の上、看護師にお渡し下さい。 □麻酔科医より（　/　）麻酔についての説明があります。ご家族の方と一緒に聞いていただき、麻酔科医より麻酔説明書・同意書をお渡しします。承諾書に必要事項を記入し、看護師にお渡しください。 □麻酔科医より麻酔についての説明があります。麻酔科医より麻酔説明書・同意書をお渡しします。必要事項を記入の上、看護師にお渡し下さい。 	時計、指輪、眼鏡、コンタクトレンズは予め、はずしておいてください。義歯ははずす必要はありませんが、看護師までお知らせください。 手術当日の朝の内服薬については入院後に説明します。	手術後、ご家族の方へ手術結果説明があります。手術中ご家族の方は、病室またはデイルームでお待ち下さい。病棟を離れる場合は看護師にお伝えください。		水分摂取の許可があれば、看護師または栄養士より食事摂取の方法について説明があります。		退院後の食事について栄養士からの説明があります。	
	看護師が手術までの流れについて説明をします。			創部にドレーン、鼻に胃管、尿道に尿管が入ります。	診察後、医師が胃管を抜去します。	尿の管が抜けたら蓄尿をしていただきます。→		
処置		毛剃りとへその掃除を行います。 	手術前に浣腸を行います。出た便を看護師に見せて下さい。 					
入浴	→	→			タオルで体を拭きます 	→	ドレーンが抜けたらシャワー浴ができます。→ 	全抜鉤(抜糸)をします。→
活動	制限ありません。 →	→	歩いて手術室に行きます。病院で準備したハイソックスを着用して行きます。	手術後はベッド上安静となります。寝返りはうってもかまいません。 	制限ありません。最初は看護師と一緒に歩きましょう。 →	定期的に歩きましょう。→		
食事	あなたの食事は （　　）食です。	夕食以降は何も食べることができません。	手術当日の食事は禁止です。水分は麻酔科医の指示のもと（　　）時まで（　）ml飲むことができます。	絶飲食となります。		医師の診察後、許可があれば飲水ができるようになります。 	医師の許可後食事が開始となります。胃切4日目食まで10時半と15時半に間食が出ます。胃切5日目食以降が15時半に間食が出ます。	

大阪赤十字病院　外科

2017年8月改訂